

各居宅介護支援事業所管理者  
各介護保険施設長  
各地域包括支援センター長 } 様

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会  
事務局長 横内 治

令和元年度ケアマネ大学（中堅者コース）の実施について（通知）

本会事業の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記研修を下記のとおり実施いたしますので、該当する職員の参加について御配慮くださるようお願いいたします。

なお、本研修は介護支援専門員が実践的な知識、技能の向上を図る機会を提供するために開催する本会の自主研修です。

記

1 目 的

主任介護支援専門員は、ケアマネジメントが適切かつ円滑に実施されるために必要な知識及び技術の習得だけでなく、他の介護支援専門員に対する助言・指導等の支援を通して、ケアマネジメントの質の向上への取り組みが求められています。

特に、法定研修では、個別事例を通じた介護支援専門員への指導や支援方法について学ぶこと、特定事業所加算においては、支援困難事例への対応等事例への向き合い方が問われています。

本研修では、会議を企画・運営する際のファシリテーションスキルについて学ぶことに併せて、主任介護支援専門員として困難事例にどのように対応していくかを、参加者自身が体験した支援事例を通して、「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」「感じること」等の場を共有し、主体的に学習することを目指しています。

2 テーマ 「主任介護支援専門員のスキルアップを目指して」

3 主 催 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

4 対象者 主任介護支援専門員として業務についている方

5 定 員 50名

## 6 期日・会場

※各日とも11時45分受付開始、研修時間は12時30分から16時30分です。

	日程	会場
第1日	令和元年9月15日(日)	彩の国すこやかプラザ
第2日	令和元年9月23日(月・祝)	彩の国すこやかプラザ
第3日	令和元年10月20日(日)	埼玉建産連研修センター
第4日	令和元年10月27日(日)	彩の国すこやかプラザ
第5日	令和元年11月10日(日)	彩の国すこやかプラザ

※本研修は主任介護支援専門員の更新要件となります。全日程受講された方につきましては、最終日に研修を修了したことを証明する修了証明書を発行させていただきます。

7 講師 峯尾 武巳 氏 (NPO 法人介護の会まつなみ副理事長)

8 内容 別添カリキュラム参照

9 参加費 22,000円

※受講決定通知に同封する振込用紙で、期日までにお支払ください。

※連続講座のため分割受講はできません。欠席の場合、受講料の返金はありませんので御了承ください。

## 10 受講申込方法について

(1) 本会ホームページの電子システムからのお申込み (推奨)

埼玉県社会福祉協議会 研修・試験 介護支援専門員について

(<http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/welfare/care-information/>)

「ケアマネ大学」の [申込みはこちら](#) をクリックし、必要事項を入力して送信してください。

※受付完了後、確認メールが届きますので、必ず御確認ください。

(確認メールが届かない場合は御連絡ください。)

(2) FAXによる申込方法 **FAX: 048-822-1449**

①別紙「受講申込書」に必要事項を記入し、送信してください。

②到達確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので、FAXが送信エラー表示となっていないか必ず確認してください。

## 11 申込期間・受講決定

(1) 申込開始日: 令和元年7月16日(火)

**申込締切日: 令和元年8月6日(火)**

(2) 受講決定について

令和元年8月15日(木)を目安に文書でお知らせいたします。

## 12 申込み・問い合わせ先

担当: 研修開発部 ケアマネジャー業務課 (松本、柳澤)

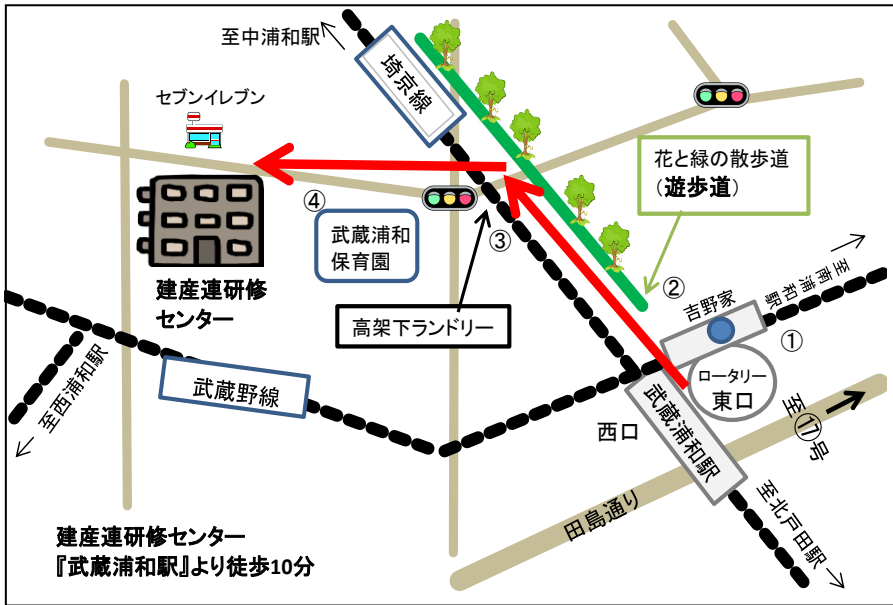
T E L: 048-824-3111 F A X: 048-822-1449

E-mail: cm-kensyu@fukushi-saitama.or.jp

※お問い合わせは、平日9時~17時の間にお願いします。

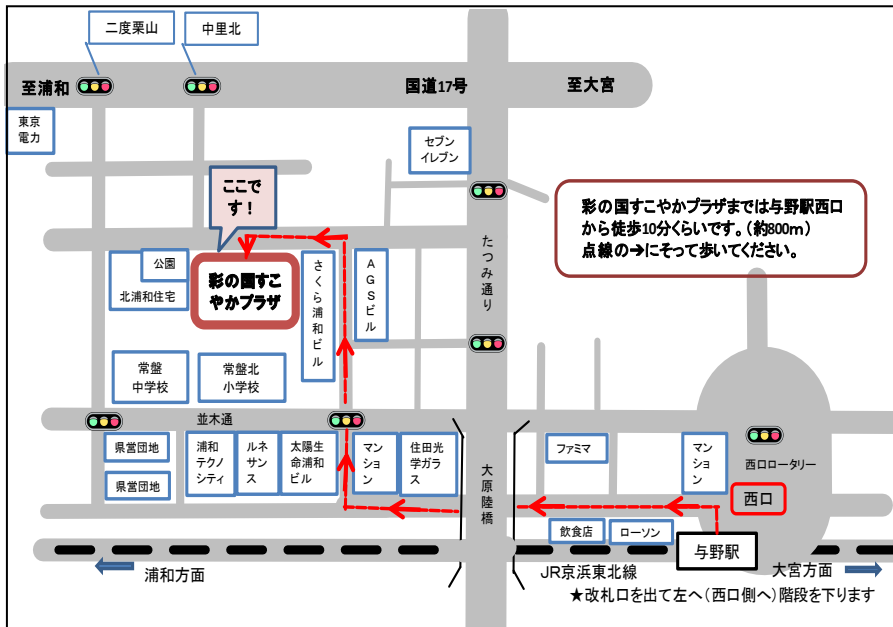
※番号をお間違えないようお気を付けてください。

13 会場案内



埼玉建産連研修センター  
 さいたま市南区鹿手袋  
 4-1-7

J R 武蔵野線・埼京線  
 武蔵浦和駅  
 下車徒歩約10分



彩の国すこやかプラザ  
 さいたま市浦和区針ヶ谷  
 4-2-65

J R 京浜東北線  
 与野駅 (西口)  
 下車徒歩約10分

**令和元年度ケアマネ大学カリキュラム  
(中堅者コース)**

**【本講座で本会がめざすもの】**

1. 次世代を担う、自立した優秀なケアマネジャーの育成
2. 知識を詰め込むだけでなく、楽しく、深く学べる空間の創出
3. 自ら課題を発見し、解決する力・姿勢の養成

本講座は、知識の習得はもちろんのこと、自由な雰囲気での参加型の講座を実施します。そこで、同じ経験をしている受講生が、様々な経験や視点を交差させることで、受講生それぞれの気づきを促し、新しい視点や考え方を発見していくことで自己成長を促すことを目的としています。

積極的に学ぼうとする皆さんの参加を期待します

	課 目	内 容
第1日	ファシリテーションの必要性を理解する① (理論編)	サービス担当者会議等を企画運営する介護支援専門員の役割は単なる司会者ではなく、参加者の相互理解を促し、ケアチームを形成し会議を効果的に運営することにあります。そのためのファシリテーションスキルを活用できるファシリテーターとしての役割が求められていることからその必要性について、その理論を学びます。
第2日	ファシリテーションの必要性を理解する② (展開編)	ファシリテーションについて理論を学んだ上で、実際のサービス担当者会議等の場面において、ファシリテーションスキルを活用した運営の展開を体験し学びます。
第3日	これまでの実践事例を振り返る事例検討(ケーススタディ)① 「事例を使った体験学習の必要性の理解」	事例検討の大きな目的は、個々の介護支援専門員としての能力向上に併せて、専門職としての専門性の構築を目指すことにあります。事例検討そのものが、介護支援専門員のレベルアップに繋がるものであるということです。
第4日	これまでの実践事例を振り返る事例検討(ケーススタディ)② 「困難事例への助言や対応策を学ぶ①」	また、これらの事例検討を演習で行う意義は、色々な価値観や背景をもつ者が相互関係を深め、共感しながら人間関係等を形成し、正解のない課題や経験したことのない問題について、実際に事例に即して話し合いという体験を通して習得していくことにあります。受講者各自に実際の支援事例を報告していただき、受講者同士で事例検討をすることから学びや気づきに繋がっていきます。
第5日	これまでの実践事例を振り返る事例検討(ケーススタディ)③ 「困難事例への助言や対応策を学ぶ②」	